



令和7年度 しまねソフト研究開発センター(ITOC) 事業説明

- 2025年5月22日
- しまねソフト研究開発センター

ITOC事業の経過

ITOC
ミッション



IT分野での技術発展とオープンイノベーションの加速による新事業創出支援

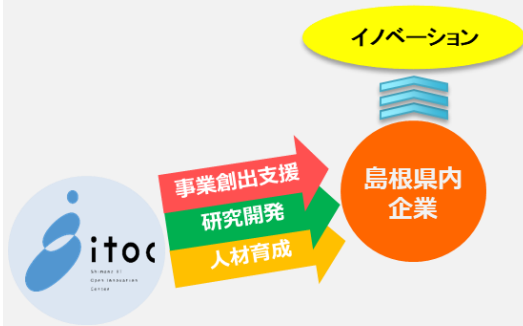


県内既存産業に向けたデジタル・DX支援、県内IT企業のDX対応への支援



県内IT企業と県内ユーザ企業との共創によるビジネスモデル変革へチャレンジを支援

平成27年度～



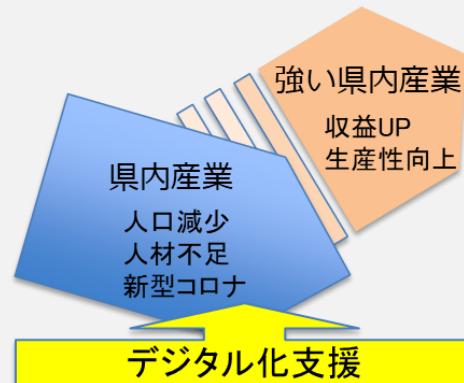
オープンイノベーションの加速、新商品・サービス創出支援を行うため、先駆的研究テーマとして、機械学習、m ruby/cを掲げ、技術支援、人材育成に取り組む。

令和元年度～



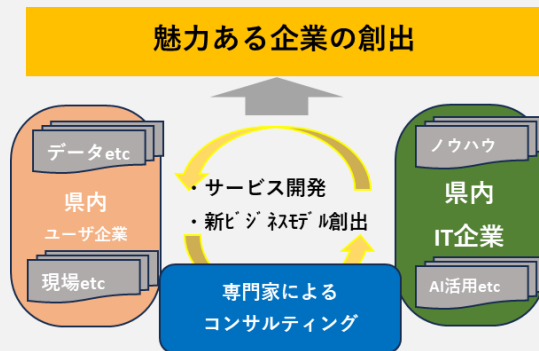
新たなサービス創出に向けて、技術支援に加えて、“島根らしい課題”に着目。R1年度からIT企業×異業種「ITOC X-Techラボ」を実施。事業化支援を強化。

令和3年度～



新型コロナ禍。この現状をデジタルで打開するため、中小企業のデジタル化支援「しまねデジタルイノベーション推進事業」をスタート。

令和6年度～



ITを活用した技術発展とオープンイノベーション加速のため、IT企業とユーザ企業の共創による新たなサービス創出・DX実現のためのモデル支援をスタート。

ITOC事業紹介

事業創出支援

■新事業創出アドバイス支援

- ・情報産業アドバイザーによる支援



■新事業創出モデル支援

- ・IT企業と非IT企業のプロジェクトを専門家による伴走支援

■専門研究員

- ・AIやデータ活用に関する技術相談・支援
- ・モデル創出支援を技術面でサポート

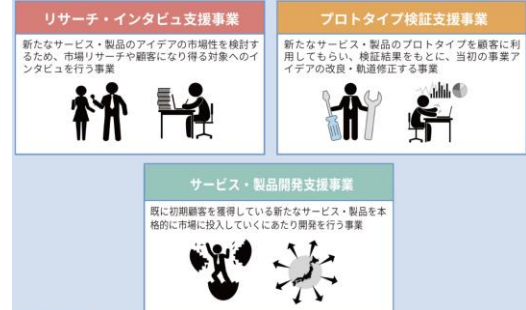


事業創出支援

■新事業創出助成金

- ・IT活用事業化支援助成金
- ・開発ソフト販路拡大支援助成金

ITを活用した新たなサービス・製品を創出する際の経費を補助します！



■X-Tech (IT×異業種)

- ・IT企業と様々な業種の企業をマッチング



研究開発・技術支援

■IoT

- ・IoT専門研究員による技術支援
- ・IoT向けプログラミング言語開発



企業の人材育成支援

■人材育成講座

- ・事業創出にフォーカスした実践的講座

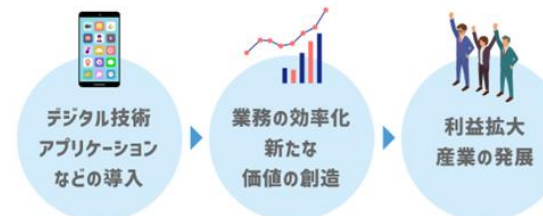


R6実施例

デジタル・DX支援

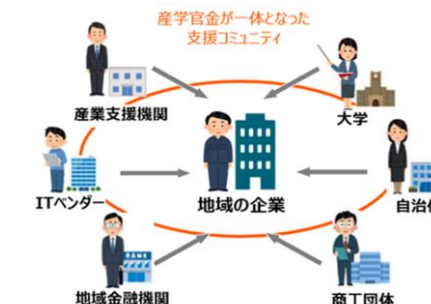
■しまねデジタル推進事業

- ・IT経営相談会
- ・Webマーケティング相談会
- ・専門家派遣事業



■しまね地域DX拠点

- ・DX推進コーディネータによる支援
- ・支援コミュニティによるDX計画策定伴走支援



1.新事業創出モデル支援

県内企業とDXパートナーを志向する県内IT企業との共創による
ビジネスモデル創出

(1)支援事業者

令和6年度に公募・採択を行った6事業者

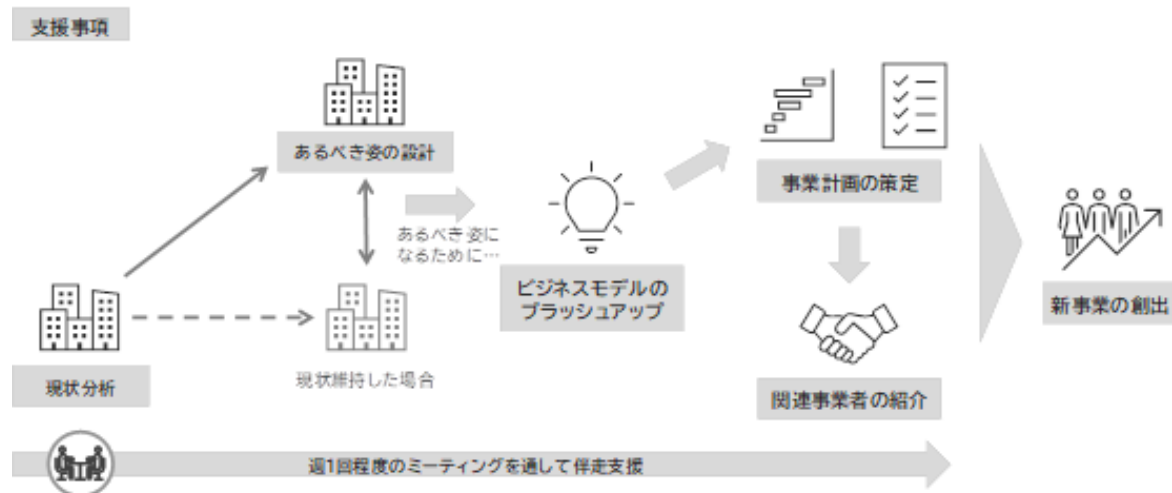
(2)専門家の伴走を受けて行う取組み

現状分析、あるべき姿の設計、課題解決を行うためのビジネスアイデアのブラッシュアップ、事業計画策定に至る一連のプロセスを伴走し、新事業創出・ビジネスモデル変革を図る。

(3)専門家によるミーティング

各支援プロジェクトにつき毎月2回以上の面談（うち1回以上の直接面談）実施

支援イメージ



2.IT活用事業化支援助成金

ITを活用した新たなサービス・製品を創出する際の経費の一部を助成

- (1)各段階に応じて最高300万円を助成(助成率:助成対象経費の1/2以内)
- (2)助成対象経費:人件費、旅費、調査外部委託費、機器購入費等



第1段階

リサーチ・インタビュー 助成

アイデアの市場性を検討するため、市場リサーチや顧客になり得る対象へのインタビューを行う事業を助成

期間:3か月以内 限度額:30万円

第2段階

プロトタイプ 検証助成

新たなサービス・製品のプロトタイプを利用してもらい、検証結果をもとに、事業アイデアの改良・軌道修正する事業を助成

期間:6か月以内 限度額:150万円

第3段階

サービス・製品 開発助成

新たなサービス・製品を本格的に市場に投入していくための開発を行う事業を助成

期間:6か月以内 限度額:300万円



サービス・
製品創出

3. 「ITOC X-Techラボ」 IT企業による異業種訪問

県内非IT企業とIT企業の接点づくりを行い、新たな事業創出を目指す



ITOC X-Techラボ

しまねの産業とITを結び新ビジネスを創出



ビジネスプランの
ブラッシュアップ



課題や情報資源
の発掘・発信



セミナー・
ワークショップ
開催

R6年度協力フィールド：隠岐

隠岐の事業者（複数社）の自社事業について課題やIT活用可能性等の説明を受け、県内IT企業の皆様との意見交換と、IT活用について検討するワークショップを実施。

テーマ：隠岐×IT



参加費
無料

隠岐の現場を
知ろう！

今回は、隠岐プラザホテルにて県内IT企業からIT企業様に隠岐での取り組み事例をお話頂きます。また隠岐事業者様(数社)の自社事業についてご紹介いただき、事業を実施する中でお感じになっている課題やITの活用等について提案を受けてみたいことなどについてご意見をいただきます。当日参加したIT企業の皆様との質疑応答や意見交換と、ITを活用した課題解決について検討するワークショップを実施します。

2024
11/6 WED
14:00-17:30 隠岐プラザホテル
住所：隠岐郡隠岐の島町11-1 隠岐プラザホテル 10階

隠岐の産業に学ぶ
異業種交流&課題発見
ワークショップ

隠岐事業者と共に考える
課題創出ワークショップ

INFORMATION
TECHNOLOGY

GUEST
株式会社テクノプロジェクト
有限会社 Will さんいん

4.「mruby/c」を核としたIoT技術支援

2016年(平成28年)より九州工業大学との共同でIoTデバイス向けプログラミング言語「mruby/c」を研究開発。オープンソースで公開する「mruby/c」を核とした組み込み・IoT分野の製品・サービス創出を支援。

事業概要

IoT時代のデバイス向けに最適な組み込み向け開発言語



世界中で利用されているプログラミング言語「Ruby」を小型化したIoTデバイス向け開発言語「mruby/c (エムルビー・スラッシュ・シー)」。

組み込みプログラミングに、Rubyの高い開発生産性と表現力をもたらす。

1. 「mruby/c」の研究開発と製品実装に向けた技術支援
2. 組み込み・IoT製品・サービスの課題解決に向けた相談対応



研究体制

しまねソフト研究開発センター
(公益財団法人しまね産業振興財団)
専門研究員 東 裕人

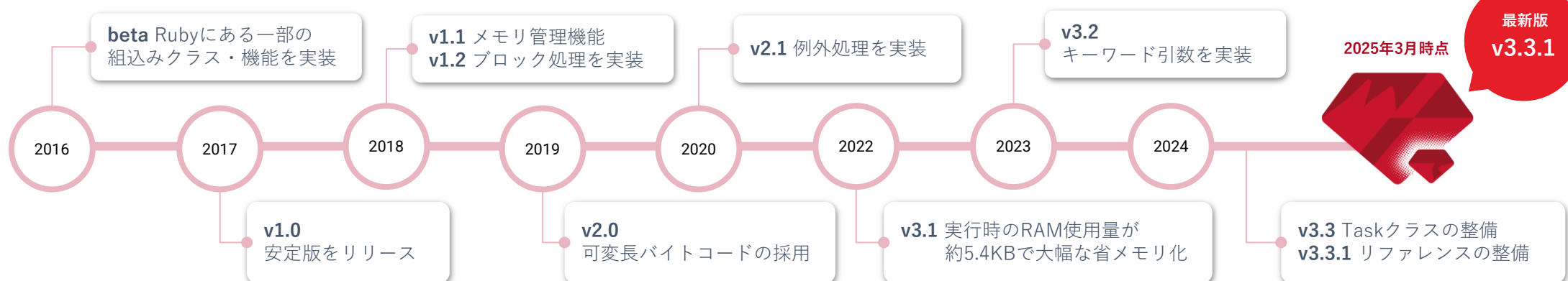
国立大学法人 九州工業大学
大学院情報工学研究院 知的システム工学研究系
准教授 田中 和明

mruby/c の特徴

Ruby, mruby と比べ
大幅に『小型化』



mruby/c の開発状況



4.「mruby/c」を核としたIoT技術支援

「mruby/c」を活用した製品・サービスの事例。

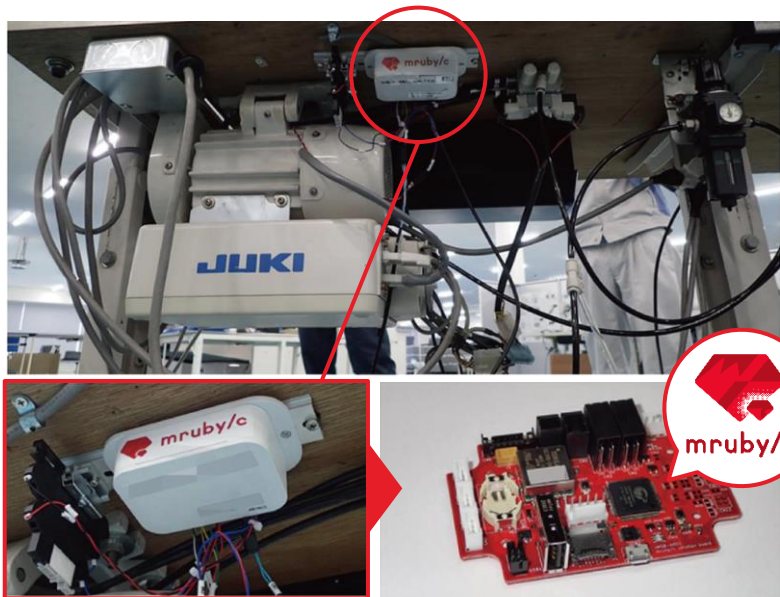
「mruby/c」の研究開発と製品実装の技術支援を通じて、組込み・IoT分野の製品・サービス創出をサポート。

事例

1

JUKI松江株式会社

工業用ミシンの補助装置



工業用ミシンの制御に「mruby/c」を採用、
試作開発を重ねて縫製不良率を80%削減

事例

2

ViXion株式会社

自動ピント調節アイウェア「ViXion01S」



- クラウドファンディングで
支援総額1億円を突破
- 2025年5月発売予定



デジタルイノベーション
総合展「CEATEC 2024」で
「総務大臣賞」を受賞

「mruby/c」の採用により開発効率を向上、
各種機能をカスタマイズできる柔軟性を実現

5.人材育成支援

事業創出にフォーカスし、事業を考える上で必要なマインドや戦略・戦術、また市場傾向や事業資金等に関するセミナー・講座の開催を予定。

例えば事業を考える上でのアイディアのを見つけ方、またアイディア仮説を検証するためのリサーチ手法や仮説の市場を探索・分析するワークショップ。実際に事業開発していく上でのマインド、組織作りや経験談。また、事業開発における資金として投資家や社内起業家などから学ぶセミナーなどの開催を予定。

参考：令和6年度開催講座（例）

スタートアップに学ぶ新規事業創出セミナー

第2回 顧客行動を分析する
カスタマージャーニーマップ
ワークショップ

講師
中村 康孝氏
フェンリル株式会社
UXコンサルタント

日時 2024年10月17日(木)
14:00～17:00

会場 Izumonomad イベントスペース
出雲市今市町2065 パルメイト出雲 1F

定員 18名
参加料 無料

スタートアップに学ぶ新規事業創出セミナー

第3回 お客様に届く！
商品・サービス開発
ワークショップ

日時
前編 2024 11/15 金 14:00～17:00
後編 2024 12/ 9 月 14:00～17:00

定員 各回 20名 参加料 無料

会場
前編 (11/15) Loom イベントスペース
松江市末次本町46松江京店RGBビル2F
後編 (12/ 9) Izumonomad イベントスペース
出雲市今市町2065/パルメイト出雲 1F

講師
宮田 大督氏
株式会社令和とトラベル
MLチーム リーダー

6.しまねデジタル推進事業

- 労働人口の減少や市場ニーズの変化、さらには新型コロナウイルスの影響など経営環境は大きく変化。
- 環境変化に適応するため、組織・仕組み・サービスをデジタルヘシフトし、差別化・競争優位の確立が必要。
- **しまねデジタル推進事業**では、県内企業のデジタル・DX化のステージに合った支援を実施。





7.しまねデジタル伴走支援助成金

しまねデジタル推進専門家派遣事業の活用後に、引き続き専門家の指導・助言を受ける場合に要する経費の一部を助成

(1)助成対象となる事業

デジタル導入計画策定、導入、運用・定着のスキームやXR/ドローン利活用において、しまねデジタル推進事業（専門家派遣）を活用した専門家派遣後に、引き続き民間の専門家を活用して計画策定、導入、運用(保守は除く)・定着レベルを引き上げる事業であって、かつ対象事業者の自走に向けた活動に資する事業

(2)助成率・助成限度額

助成対象経費の1/2以内、30万円

(3)助成期間

交付決定日から1年以内

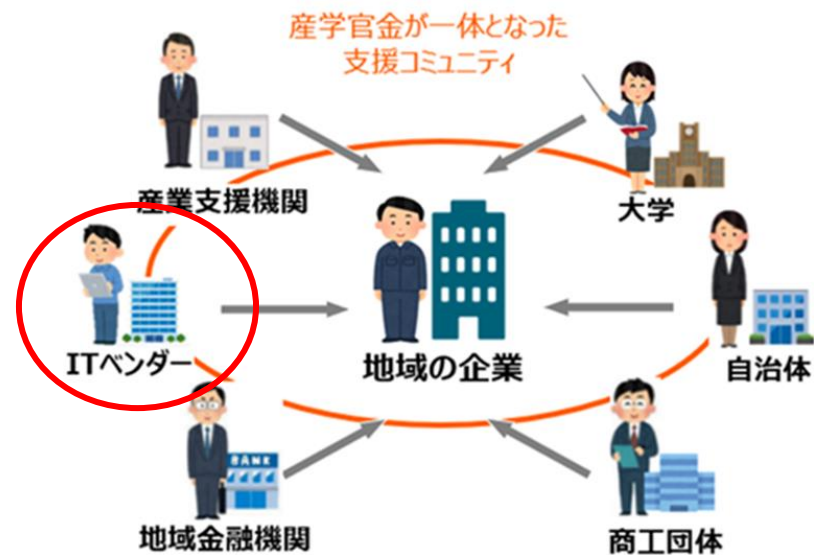
(4)助成対象経費

専門家に支払われる謝金、専門家に支払われる旅費

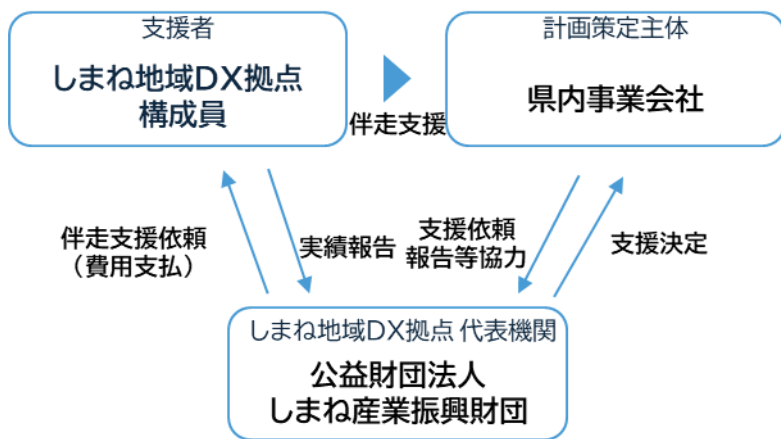
8. しまね地域DX拠点事業

「しまね地域DX拠点」は、島根県内の産学官金が連携して組成した支援コミュニティで、コミュニティ構成員が有するネットワークや知見を持ち寄り、県内他事業者のモデルとなるようなDX計画事例の創出に向けて、DX計画策定等の伴走型支援を行う。

しまね地域DX拠点_構成図



伴走支援スキーム



県内事業会社への支援範囲

本事業の対象

本事業の対象外

計画策定

計画実行

- 現状分析(経営戦略に基づく経営課題の整理)
- DX事業計画の策定
- システム導入計画の策定
- DX事業計画に基づく計画実行
- システム導入計画に基づく計画実行(デジタルツール導入など)

具体的には

- 計画策定に向けた事業会社に対するヒアリングや
- 事業会社が策定したDX計画やシステム導入計画の資料化

※令和6年度同様、島根県情報産業協会様のメーリングリストにて、会員企業の皆様宛に本拠点構成員への参画に向けたご案内を行う予定。